

中町瓜太郎 語りと生演奏の夕べ

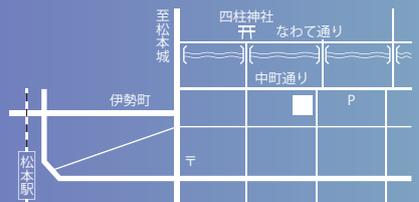
蔵の夕べ

第13回

2019
12/21 Sat

開演 16:00 ~ 17:00 (予定)

料金:500円
場所:中町・蔵シック館



松本駅から徒歩10分またはバス
駐車場はありません(車の方は近隣の駐車場をご利用ください)

主催・問い合わせ先

中町 Nakamachi
蔵シック館 Kurassic-kan

Tel. (0263)36-3053

<http://nakamachi-street.com/kurassickan/>

蔵の夕べはミニコンサートなどのステージを蔵シック館で定期的に行い、街の人通りが減る夕刻に市民の方に市街地に来て頂くこと、観光客も夕方楽しめる場を提供したい！という目的で始めました。地元のミュージシャンの活動の場を提供することにもなればと思っています。

13回目は、松本や安曇野などで「ふれあいコンサート」を30年続けている瓜太郎さんとその一座による演奏・歌・語りです。

「父を想い 母を語る 花を愛で 家族を慈しむ・それだけでほらこんなに心があたたかい」というテーマで、年の瀬を笑い、暖まり、元気をくれるライブをお聴かせ頂きます。

出演

瓜太郎 一座

中町(安曇野) 瓜太郎 【語り・踊り・Piano・歌】

1958年生まれ

・高校時代よりフォーク、ポップスにのめり込む(ギターの弾き語り)

・30歳頃からピアノを始め、同時期から病院や福祉施設、公民館など地域で開かれるコンサートに出演するようになる。以来、年間100回ほどのペースで30年続けている。

・40歳頃から、歌が生まれる背景や作者の気持ちに思いを馳せるようになり、一曲、一曲を深く研究するようになる。特に童謡の奥深さに魅了される。

・福祉施設での演奏により、認知症の患者さんやターミナル(末期患者さん)の方が、穏やかに幸せそうな症状をされることに深い感動と衝撃を受ける。音楽療法に傾倒する。

・これからは、42年間の病院で勤務に一区切りをつけ、育てていただいた地域への恩返しもかねて、音楽を通して社会貢献していきたいと考えている。



Slow Hand 有山【Guitar】・ドン中田【Bass】・ビーノ武井【Sax】・Smily青豊【Percussion】

曲目 父よ・友への最後の手紙・アフリカンソング～祈り～・大正ロマンチック通り・荒城の月 他